

**公開シンポジウム**  
**「東シナ海での危機回避に向けた日中対話の必要性」**  
**—航行安全をめぐる日中民間対話の試み—**

日 時： 2014年5月29日(木) 14:00-17:00 p.m.  
場 所： 日本財団ビル2階大会議室  
主 催： 笹川平和財団  
言 語： 日本語—中国語同時通訳

プログラム

14:00-14:15	開会挨拶 「民間からの挑戦：事業の経緯と成果の概要」 羽生 次郎 (笹川平和財団 会長)
14:15-14:30	「民間からの挑戦：その意義と課題」 朱 鋒 (北京大学 教授)
14:30-14:45	「日本側の主張：法的問題と航行安全上の見解」 中谷 和弘 (東京大学大学院 教授)
14:45-15:00	「中国側の主張：法的問題と航行安全上の見解」 洪 農 (中国南海研究院 海洋法律与政策研究所所長)
15:00-15:15	コメント 真山 全 (大阪大学大学院 教授)
15:15-15:25	休憩
(第二部)	
15:25-15:40	「危機回避への道：CBMの可能性と課題—日本側から」 飯田 将史 (防衛省防衛研究所 主任研究官)
15:40-15:55	「危機回避への道：CBMの可能性と課題—中国側から」 于 鉄軍 (北京大学 准教授)
15:55-16:10	コメント 李 恩民 (桜美林大学 教授)
16:10-17:00	質疑応答
17:00	閉会

 **笹川平和財団**

国際交流、国際協力、国際理解を促進しています。

 **笹川日中友好基金**

理解を促進し、人を育て、協力を重ね、未来を創る

[www.spf.org](http://www.spf.org)

[www.spf.org/sjcff/](http://www.spf.org/sjcff/)